

「京都みらい観光振興計画」(案) への意見募集の結果について

「京都市みらい観光振興計画」の策定に向けた意見募集の結果については、以下のとおりです。

1 意見募集期間

平成26年8月18日(月)～9月16日(火) 30日間

2 周知方法

意見募集のパンフレットを市役所本庁舎案内所、情報公開コーナー、各区役所・支所、京都市図書館、京都市国際交流会館等の本市施設において配布するとともに、京都市情報館のホームページに掲載したほか、地域の観光関連団体、旅行会社、鉄道事業者をはじめとした観光関連事業者や観光案内所、市内の大学、ボランティアガイド団体、伝統産業団体等への幅広い周知に努めました。

【配布・周知先】 約2,000箇所(個人・団体を含む。)

3 応募結果の概要

(1) 属性

個人の方165名に加えて観光関連の各種団体・事業者の15団体から、合計546件の御意見をいただいています。

性別、年齢別の人数は下表のとおりです。(単位：人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男性	0	8	18	11	15	32	7	5	96
女性	0	3	4	6	11	10	3	0	37
不明	0	0	0	1	0	1	0	30	32
合計	0	11	22	18	26	43	10	35	165

観光業従事者の人数は下表のとおりです。(単位：人)

観光に関する仕事を	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
している	0	3	8	7	15	28	5	9	75
していない	0	8	12	10	11	11	5	4	61
不明	0	0	2	1	0	4	0	22	29
合計	0	11	22	18	26	43	10	35	165

(2) 項目別の意見数

(単位：件)

項目	件数
1 計画全体	34
2 人づくり、まちづくり	257
3 魅力の向上、誘致戦略	180
4 魅力の発信	29
5 MICE戦略	14
6 実行体制	10
7 その他	22
合計	546

4 主な御意見

(1) 計画全体について

- ・どの事業から始めるのか、優先づけが大切である。
- ・計画目標である「再来訪意向」、「紹介意向」、「京都人のおもてなし」100%を目指すのはスローガン的であり、現実的な数値設定が必要である。

(2) 人づくり，まちづくり

- ・まちづくりは人づくりであるという認識を共有してほしい。
- ・エスカレーターやエレベーターの設置など観光客に優しいまちづくりを進めてほしい。
- ・観光地におけるトイレを充実してほしい。
- ・多言語表記の充実が必要である。
- ・公共交通機関の利便性の向上，混雑緩和を進めてほしい。

(3) 魅力の向上，誘致手法

- ・先を見据えた新たな閑散期対策の実施が必要である。
- ・みらいの京都の観光のために，新たな文化の創出が必要である。

(4) 魅力の発信，コミュニケーション

- ・京都総合観光案内所の拡充や観光案内所の増設が必要である。
- ・外国人観光客への対応に必要な知識や心構えを市民にお伝えしていく必要がある。

(5) MICE戦略

- ・京都府や国とも連携をはかり多様な施設の活用が必要である。

(6) 計画推進体制

- ・施策や推進事業ごとに実施主体の役割分担が必要である。

5 最終案における主な変更点

(1) 計画目標（P27）

「京都人のおもてなし」の目標について，感動度のうちの個別の感動度ではなく，「京都のおもてなし度」を指標とすることとした。

(2) 魅力の発信・コミュニケーション（P47～49）

施策及び事業について再構成を行った。

6 主な御意見に対する本市の考え方

(1) 計画全体について：34件

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
広範に捉えた内容で、概ね全ての施策は反映されている。京都は、世界的な観光都市としてはまだ発展途上であり、「Travel+Leisure」誌の読者アンケートで京都が世界1位となったが、本計画を推進することで京都が更に飛躍し、日本の観光をけん引することを期待している。 縦割り行政の弊害により様々な取組の横の連携が行われておらず、国内観光振興とインバウンド振興の有機的な結合の戦略性に欠けるなど、様々な知恵を出し合う姿勢がますます必要となっている。	16	市民、社寺関係者、文化関係者、観光関連業界、地元企業、大学・学生、観光客など京都を愛する皆様と計画を共有し、目標達成に向けて、一丸となって取組を進めてまいります。
総花的である。盛りだくさんであることから、骨組みや構造、基本的な流れが分かりづらい。また、色々と打ち出しても、何から着手するかという優先順位の設定が必要である。目標に対するロードマップの作成や、注力する点や実施主体と役割分担の定義が必要である。	11	重点事業を中心に、今後2～3年で取り組む短期事業と平成32年（2020年）を見据えて取り組む中期事業に分け、実施主体、実施手法を明確にしたうえで計画を推進してまいります。併せて、宿泊客数、滞在日数、宿泊者比率、経済効果や雇用創出効果等を指標として、今後数値目標を設定してまいります。 また、観光に取り組む意義を考慮し、「京都の魅力の維持と創出」、「持続可能な文化と観光の創造」、「交流による多様性の相互理解と心豊かな暮らしの創出」、「需要創出や雇用創出など京都経済のけん引による市民生活の向上」に最大限に資する取組を中心に進め、世界があこがれる観光都市を目指し、目標の実現に向け取り組んでまいります。
優先度の高い重点事業は★マークがついていても目立たないので記載の工夫が必要である。	1	御意見を踏まえ、よりわかりやすい記載に努めてまいります。
計画目標に掲げている、「再来訪意向」、「紹介意向」、「京都人のおもてなし」への個別感動度を100%とすることについては、スローガンとしての目標	1	御意見を踏まえ、よりわかりやすく具体的な目標を設定します。

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
100%として理解できるが、現実的な目標ではないため、2020年に達成すべき目標として現実的な数値を設定すべきである。		
計画目標に掲げている外国人宿泊客数年間300万人について、国は2020年に訪日外国人客を現状の2倍の2,000万人を目標としているため、日本を訪れる外国人客数が2倍である以上は市の計画においても目標値は2倍程度とすることが現実的な目標である。	1	外国人観光客誘致に向けた様々な取組に加え、宿泊施設の増加策の推進、閑散期の宿泊客増加の取組、旅館の魅力のPR等を進め、目標達成に向けて取り組んでまいります。
東京オリンピック・パラリンピックの開催に関連して実施される取組が魅力発信の強化のみではなく、もっと具体的かつ多彩に連動した取組を実施する必要がある。	1	本計画の策定、施策そのものが、東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えて実施するものではありませんが、具体的に、東京オリンピック・パラリンピックの開催と連動した取組としまして、参加者や観戦者等の京都への誘客のほか、今後、開催地である他の自治体との連携等も進めながら、取り組んでまいります。
サービス業界全体の労働環境を見直し、待遇改善や若年労働者の使い捨て防止を行う必要がある。	1	本計画の推進に伴い、安定した雇用の創出など観光による経済効果を最大限に高めることを目標に取り組んでまいります。
施策・事業の多さを示すのが目的であるのか。	1	京都における観光は、あらゆる分野にまたがり、観光政策は全ての行政政策に関連するものであることから、施策、事業が必然的に数多くなりますが、一つ一つの取組を丁寧に行ってまいります。
計画の内容を多くの人に分かりやすくするため、用語の説明を増やす方がよい。	1	より分かりやすい計画づくりに向けて、できる限り分かりやすい用語の使用や説明の記載等を行ってまいります。

(2) 人づくり・まちづくり：257件

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
まちづくりは人づくりであるという認識を共有してほしい。	1	4つの柱のうち「人づくり，まちづくり ～おもてなし・やすらぎ・しつらい～」を施策の最初に掲げ，「おもてなし」を実践できる人材の育成が重要であると考えております。計画の推進に当たっては，御意見の趣旨を踏まえ，取組を進めてまいります。
市民一人一人に対して，観光客をお迎えするという意識の底上げが必要であり，そのためにも，簡単な観光に関する研修や英会話研修の実施，市民による工房見学や制作現場等の案内の実施，また，そういった人材の育成や募集等を行うことにより，文化や伝統産業を足元から支え，市民がおもてなしできる機会を作ることになる。	24	京都の「ほんもの」の魅力を次の世代に継承することは，我々の世代に課せられた使命です。多様な景観資産，伝統文化・芸術・すまいや生活の文化，文化的資産を守り，育て，創造的に活用を進めることは大変重要です。そのためには京都の奥深い魅力を市民の皆様にご存知いただき，楽しみ，再確認していただくことが必要です。伝統文化や伝統産業等に触れる機会の創出を図り，市民の誇り（シビック・プライド）の醸成・向上に努めることで，「おもてなし」の実践を進めてまいります。
「おもてなし」のあり方について，マニュアル的なことばかりであり，お客様に来ていただいている感謝の心からのおもてなしが少なくなっている。		
嵯峨嵐山地域が小倉百人一首編纂の地であるという史実を生かして，市内の教育現場や生涯学習の場において，小倉百人一首に親しむ機会を増やすべきである。		
京都で学ぶ全ての市立中学生が，京都の魅力を再認識するとともに知識を深めるきっかけとなるよう，京都・観光文化検定を積極的に活用する必要がある。	1	施策1において，中学生に対する京都・観光文化検定の受験機会の提供による京都への興味関心，知識等の更なる深化に取り組んでまいります。
次世代を担う子供たちに日本文化を学ばせることが必要だ。	3	施策1において，学校教育を通じた子どもたちへの伝統文化や伝統産業に触れる機会の充実等，日本文化の神髄である京都の魅力を学ぶ機会を創出してまいります。
小中学校で，伝統文化や伝統産業等に触れる教育や校外学習等の充実が必要である。		
関西にある観光関係の学科を設ける大学や専門学校と連携して，インターンシップなどができないか。	1	施策1において，大学生等の観光施設等での職業体験の実施に取り組んでいく中で参考とさせていただきます。
京都は学生のまちであるため，学生の力を活用した京都観光への協力や，研	3	大学のまち京都の特性を生かして，学生の力をお借りした観光の取組の推進

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
究機関や資料館の集積を活用した古典・歴史に関する講義の開催等を実施してはどうか。 大学生の活用を行う場合は、裕福な大学生等との間でキャリア形成の機会に不平等が生じることのないよう、無償ではなく最低限の費用を補助すべきである。		を進める中で参考としてまいります。
通訳ガイドの知識を活用するためのガイド団体との交流の推進や、国際交流ボランティア団体のボランティア募集情報の一元化等を実施してはどうか。	2	施策１において、ボランティアガイドの活躍の場の提供やボランティア団体の活動の活性化に取り組むうえで、今後の参考とさせていただきます。
英語以外の言語による市民講座の充実や、サービス介助士の取得を推奨することで、実のあるおもてなしが実現される。	1	施策１において、市民ぐるみで旅行者をあたたくお迎えするための様々な取組を推進する中で今後の参考とさせていただきます。
京都観光に関する様々なコンテストを主宰してはどうか。	1	施策１において、高校生・大学生等を対象に京都観光に関するアイデアを募集するコンテストの開催に取り組んでまいります。
多種多様な観光客の受け入れに当たり、国籍によらず人権を尊重すべきことを啓蒙するなど、異文化理解の基盤整備が必要である。	1	施策１において、国際感覚を持った人づくりの推進に取り組んでまいります。
語学講座や文化講座を開講している施設と連携したネットワーク形成による観光人材の育成や、京都市生涯学習情報検索システム「京まなびネット」の市民活用の促進、学校や生涯学習機関等での外国語による京都ガイド冊子・マップの企画作成に関する授業等の実施を行ってはどうか。	3	京都ならではの「おもてなし」を研究し、広め、京都らしい、おもてなしの名人を育み支える取組を進める中で参考とさせていただきます。
観光経営を学ぶ高等教育機関については、専門的な学科をつくり、２０年後・３０年後を見据えた人材育成をすすめるべきである。 観光経営を学ぶ高等教育機関等の創設・誘致の支援については、具体策を示すとともに、既存の観光関連の学部を開設している大学や専門学校との棲み分けが必要である。	2	観光経営を学ぶ高等教育機関の創設・誘致に向けた支援については、今後、具体的な内容を検討してまいります。
外国人観光客に対するマナー等の啓発	6	京都の文化やその奥深い魅力と本質を

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
が必要である。		国内外にお伝えし、知っていただくとともに、皆が思いやりの心を持って、京都の「ほんもの」の魅力を楽しみ、理解いただけるよう取組を進めてまいります。
修学旅行生に対して、マナーの啓発や外国人との交流の際の事前勉強を行うことが必要である。		
文化や習慣の違いからくる外国人観光客のマナーの齟齬や市民が受ける外国人観光客へのマイナスの印象を避けるため、日本の文化や習慣について理解を深めてもらう取組が必要である。		
おもてなしの体现のため、タクシー運転手の接遇や運転マナーの向上が必要である。また、ガイドもできるタクシードライバーの養成が必要である。	6	施策2において、おもてなし向上の取組を進める中で、参考にさせていただきます。
バスや鉄道などの職員への英語教育が必要である。		
特区による通訳案内士法の特例を活用した通訳ガイド育成と京都市認定ガイド制度の導入はすばらしく、知識や語学などより専門性の高い通訳案内士の増加につながるため、日本の有資格ガイドの育成を京都市がリードするように、取組を進めることが必要である。	18	施策2における「特区による通訳案内士法の特例を活用した伝統産業・伝統文化等を説明できる専門性の高い通訳ガイドの育成と京都市認定ガイド制度の導入」を推進するに当たっては、現状の課題をしっかりと把握したうえで制度の構築に向け、いただいた御意見を参考にしながら取組を進めてまいります。
国家資格の通訳案内士は不足していない。特区制度で新たな通訳案内士を創出することは、通訳案内士の質の低下や、既存の通訳案内士と異なるサービスの提供による混乱が発生しないかを検討すべきである。質の高い通訳ガイドの育成が必要であり、既存の通訳案内士も含めた専門の講座の受講や、既存の通訳案内士とは別の期限付きガイド制度、伝統産業体験施設等への常駐や英語以外の言語の充実などを検討すべきである。		
専門性の高い通訳ガイドの育成や、京都市認定ガイド制度の導入と合わせて、京都のイメージを損なうような、いい加減な知識のガイドの取り締まりが必要である。		
観光シーズンには、ボランティアガイドの人員不足となり、ガイド依頼を断らなくてはならない現状がある。		

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
特区による通訳案内士法の特例を活用した通訳ガイド育成と京都市認定ガイド制度の導入に当たっては、京都・観光文化検定の２級以上の合格を義務付けてはどうか。		
様々なニーズに合わせたガイドの拡充が必要である。		
外国人観光客に向けた無料によるガイドを増やすべきである。	1	市民ぐるみで旅行者をあたたかくお迎えするためには、ボランティアガイドの皆様の活躍の場の提供や活動の活性化が必要と考えています。御意見を参考にしながら取組を進めてまいります。
特区による通訳案内士法の特例の活用やインターネット通信環境（Ｗｉ－Ｆｉ）の充実に当たっては、関西広域連合とも協調しながら取組を進めるべきである。	2	観光客の皆様は、様々な目的を持って、京都だけではなく様々な都市・地域を周遊されています。広域的な連携をとりながら取組を進めてまいります。
施策２における「外国人観光客が安心して利用していただける事業者の認定制度の創設」に当たっては、外国人観光客と直接的・間接的に関わる事業者との十分な検討や、多言語による分かりやすい情報提供などが必要である。	3	外国人観光客が安心して利用していただける事業者の認定制度の創設に当たっては、関連する事業者のほか幅広く御意見を聴いたうえで、検討を行ってまいります。
外国語対応のお店を認定する制度を作ってはどうか。		
国際的視野を持つ市役所職員の育成が必要である。	1	施策２における推進事業である市役所職員の英語能力の向上などをはじめ、更なる能力向上に努めてまいります。
京都検定１級合格者同志のつながりを強化し、テーマ別のボランティア集団を設置して京都観光の活性化プランを計画してもらってはどうか。	5	施策２において、京都・観光文化検定試験の普及及び合格者の活動機会の創出を掲げており、今後取組を実施していくうえでの参考とさせていただきます。
京都・観光文化検定試験について、目の不自由な方のための点字で受験できる仕組みや、足の不自由な方のために試験場に行かなくても受験できる仕組みを考えてはどうか。		
市役所職員が、京都の魅力について理解を深めることが大切であるため、市役所職員への京都・観光文化検定試験の受験奨励が必要である。		

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
京都・観光文化検定の合格者を「おもてなし名人」に認定してピンバッジを着用することで、観光客が街なかで気軽に案内等を依頼することができる仕組みを考えてはどうか。		
京都・観光文化検定の合格者への特典を充実させる等により、検定そのものの価値を高めることによって、市民が京都の歴史・文化等について自発的に興味を持つ仕組み作りが必要である。		
災害時における観光客への対応が必要であり、外国人等の誘導方法のマニュアル化や、多言語による情報発信、観光客の生存確認方法等の検討、交通事業者との連携による情報提供等が必要である。	7	本市では、観光客等の帰宅困難者対策の取組を進めており、主な観光地である「清水・祇園地域」及び「嵯峨・嵐山地域」では、帰宅困難観光客避難誘導計画を策定しています。今後も関係者と連携して、訓練の継続実施や、緊急時災害情報の提供等に取り組んでまいります。
外国人観光客に対応した、飲食店メニューの多言語対応や、ハラル対応・コーシャー対応の有無、ベジタリアン対応、アレルギーの表示等を行う必要があり、飲食店向けのマニュアル作成や研修会等を行うべきである。	8	メニューや食材情報（アレルギー）等の多言語マニュアルを作成・配布するなど、多言語対応への支援の充実を図り、外国人観光客の方が利用しやすい飲食店の増加に向けて取組を進めてまいります。
基本的で最低限必要なこととして、市内の公共空間全てを、屋内外問わずに禁煙としてほしい。	1	京都市では受動喫煙の防止に率先して取り組み、市内の行政機関については全面禁煙を目指しています。また、その他の公共性の高い場所についても、全面禁煙をはじめとする受動喫煙防止対策に取り組む施設を増やすとともに、その対策内容を利用者にわかりやすく表示してまいります。また、京都市路上喫煙等の禁止等に関する条例に基づき、路上喫煙等による市民や観光客等の皆さんなどの身体や財産への被害を防ぐとともに、受動喫煙による健康への影響を抑え、誰もが安心・安全で健康な生活が確保できるよう取り組みを進めています。
京都総合観光案内所や京都市国際交流会館などの関係機関が連携して、情報をまとめて外国人の緊急時の相談窓口	1	「京都市 Web 1 1 9」、「安心救急ステーション」や「1 1 9 番通報時の多言語通訳事業」など、緊急時の外国人観

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
を設けると、安心して京都観光に来ていただける。		光客の安心・安全の確保に努めていますが、更なる体制の整備・充実を実施してまいります。
有料でもよいので、小売店・飲食店向けに多言語通訳するコールセンターの設置が必要である。	1	外国人観光客対応の受入体制の強化を進めるため、小売店・飲食店向けの多言語コールセンターの設置について検討を進めてまいります。
施策3における、「ホテルや旅館をはじめとする市内建築物の耐震化や防火改修の推進と適合情報の発信」によって、適合マークを備えない宿泊施設にとっては影響を受ける可能性が高いため、京都ならではの「安心・安全」につながる情報を発信すべきである。	1	宿泊者の安心・安全の確保は当然のことながら、観光都市・京都としての都市特性を踏まえたうえで、必要な情報発信を検討してまいります。
施策3における「観光客等に対する新型インフルエンザ等感染症発生時の適切な情報の提供や、効果的な誘客活動等による風評被害対策」について、このようなリスクに対応する保険が必要である。	1	新型インフルエンザ等感染症発生時の対応等、様々な事象に対応することができるよう、安心・安全に関する取組を進めてまいります。
露店等の衛生の取り締まりを実施する必要がある。	1	施策3において、全ての方が京都観光をお楽しみいただけるよう「安心・安全」を徹底的に高める取組を実施してまいります。
外国人観光客に向けた、デパートでの日英併記や、ゼスト御池への江戸時代風の免税街の設置、タクシーでのクレジットカード決済やクレジットカードのサイレント化の促進、ATMでの外貨払出しや両替など、外国人観光客に対する買物環境の整備が必要である。	8	施策4において、免税店の更なる拡大や、クレジットカード、電子マネー等の利用環境の向上、外国人観光客でも使用可能なATM（自動現金預払機）設置の促進等を掲げており、外国人観光客にやさしい買物環境の整備に取り組んでまいります。
四条通の河原町通と烏丸通の間の地下通路にエスカレーターかエレベーターを設置し、分かりやすい案内表示が必要である。	1	施策5において、ユニバーサルツーリズムの推進や案内標識をはじめとする言語環境整備など、「やさしさ」あふれるまちづくりを進めることとしております。観光客の皆様だけではなく市民の皆様にとっても、住んでいてよかったと実感できるまちづくりを進めてまいります。
ユニバーサルツーリズムの推進のため、車いすが可能な施設の拡大や、京都駅周辺での車いす貸出し台数の増	15	施策5において、「やさしさ」あふれるまちづくりを進めるため、観光地で利用可能な「車いすレンタル制度」の創

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
加，市内複数箇所での車いす貸出し・返却場所の設置，車いすでの拝観可能範囲等の観光施設リストの作成，ベビーカーの貸出し，介護タクシーの活用，大人用おむつ交換台の設置，外国人旅行者のための通訳者同行システム，店舗のいす等の外国人対応サイズ化，聴覚障害者の耳マークの普及をはじめとした対応など，京都ユニバーサル観光ナビの充実も含めて全ての人々が観光しやすい環境づくりに取り組んでいく必要がある。		設やユニバーサルツーリズムの更なる推進などを掲げており，誰もが快適に過ごしていただくまちを目指し，今後事業を推進する中で参考にさせていただきます。
パラリンピックは社会的意義が高く，世界から注目されるため，行政が補助金を支出するなどの援助を行い，京都のまちを徹底的にバリアフリー化する必要がある。	3	施策５において，観光施設等のバリアフリー化を掲げており，今後計画を推進していくうえで参考にさせていただきます。
全ての施設や道路への点字ブロックの整備が必要である。		
京都駅周辺や観光地周辺における清潔なトイレの充実や，トイレの洋式化，トイレトペーパーの常設，トイレマップの作成等が必要である。	9	施策５において「民間施設のトイレの活用やトイレの洋式化の推進など，観光地におけるトイレの拡充及び充実」を掲げており，民間施設のトイレの活用やトイレの洋式化の推進など，観光地におけるトイレの拡充及び充実等を進めるに当たり参考にさせていただきます。
地図，看板，方角表示，駅・バス停案内等の多言語対応の充実や，タブレット端末での多言語ナビなど，外国人が利用しやすい環境整備が必要である。	2 3	外国人観光客に向けた，観光案内マップ，パンフレット等の多言語化の推進や，楽しく分かりやすい案内表示方法の検討に取り組むとともに，観光案内標識アップグレード推進事業の継続実施を進めてまいります。また，ＩＣＴ機器を活用した観光案内の充実について，検討を進めるなど，外国人観光客の受入環境の整備を進めてまいります。
外国人観光客に向けた２４時間通訳・案内を設けてはどうか。		
通りが碁盤の目となっているエリアについて，通りごとに記号を付すなど座標によって一目で現在地が分かる表示方法を導入してはどうか。		
目的地までの歩く距離がカロリー表示された地図を作成してはどうか。		
景観を重んじるあまり標識が少ないため，交通標識を充実させる必要がある。	3	施策５において，観光案内標識アップグレード推進事業の充実に取り組む中で，今後の参考とさせていただきます。
観光案内図板に載っていない施設があ		

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
るため、観光案内図板の充実が必要である。 寺社等の標識には、駅からの所要時間や施設の閉門時間の記載が必要である。		
Wi-Fi 環境の更なる充実や外国人観光客が利用しやすい Wi-Fi 環境の整備を行うとともに、翻訳アプリのダウンロードが可能となるなど、利便性の向上が必要である。	1 1	施策 5 において、外国人観光客に対応する W i - F i 環境の整備に取り組み、利用手続きの簡素化や利用場所の拡大等、更なる利便性の向上を目指す中で参考にさせていただきます。
目の不自由な方や、足が不自由で近づくことができない方のために、代表的な建物・庭・仏像等のミニチュアを設置してはどうか。 急な雨天の場合に、寺社で傘を貸出し、駅やホテルで返却する仕組みをつくれな	2	施策 5 において、全ての人が京都観光をお楽しみいただけるよう取組を進めるうえで、今後の参考とさせていただきます。
市バスや地下鉄の分かりやすい案内表示や、目的地まで効率の良い移動手段を提案するボランティアガイドの設置、「歩くまち京都アプリ」の改善など、「歩くまち京都」の更なる前進が必要である。	1 1	観光客向けの公共交通案内の充実、公共交通機関の利便性向上等の取組を進め、歩いて楽しいまちづくりの推進に努めてまいります。また、「歩くまち京都アプリ」につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
観光地を巡る路線の市バスが混雑しているため、混雑緩和の取組や、市バスの新規路線の拡充、観光地を巡る乗り降り自由な二階建てオープンバス、観光専用市バスの設置等が必要である。また、観光客にとっても分かりやすい行先表示や 1 日乗車券等の P R を行う必要がある。	1 9	施策 6 において「観光地をつなぐ公共交通機関の利便性向上」に取り組むこととしており、市バス・地下鉄の利用環境の整備充実と利便性の更なる向上に向けて取組を進めてまいります。
市バス・地下鉄の 1 日・2 日乗車券は、土地勘のない観光客では効率よく利用できないため、広大な寺院・神社は拝観所要時間の明記が必要である。また、市内の渋滞緩和、観光地周辺の歩車分離、観光地における鉄道等の延伸、花見小路通等の観光地の交通規制や、観光バスの規制緩和等に取り組んでほしい。 一日乗車券の値段が高いため、市内中心部のみとするなどにより利用しやす	1 1	施策 6 において、歩く楽しさを更に引き出す歩いて楽しいまちづくりの推進や、観光客向け公共交通案内の充実、観光地をつなぐ公共交通機関の利便性向上に取り組むうえで、今後の参考にさせていただきます。

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
い金額設定としてほしい。		
パークアンドライドを推進するため、南インターと竹田駅の付近に巨大なパーキングビルを建設し、観光専用市バスの拠点としても利用するほか、普及のため1年目は駐車料金を無料としてはどうか。また、清水や嵐山などの観光地や細街路では、特定車両以外の通行制限を行うなど、自家用車の流入抑制を実施すべきである。	4	施策6において「観光客の不満である交通渋滞の解消に向けた、観光地等における自動車流入抑制策の検討と、パークアンドライドの実施」を推進事業として掲げており、今後計画を推進する中で参考にさせていただきます。
京都駅周辺に駐車場がないため、八条口周辺の開発の一環として、八条口の駐車場を2階建てにして、タクシーや自家用車と観光バス・搬入業者用に分けることで、単に駐車スペースの確保という観点からだけではなく、歩行者にも利点が生じる。	1	本市では、市内の渋滞を避けるため、パークアンドライドを実施し、市内中心部への車の流入抑制に取り組んでいるところです。これを踏まえ、施策6における活気や賑わいにあふれた京都駅南口駅前広場の整備に取り組んでまいります。
地下鉄四条駅南口の地図には、京都芸術センターと京都文化博物館の記載がない。	3	施策6における、歩く楽しさを更に引き出す歩いて楽しいまちづくりを推進する中で、分かりやすい案内の充実等に取り組んでまいります。
京都駅は、海外の一般的な駅と異なりホテル案内や荷物預りカウンター等の場所が違ふことや、案内が分かりづらい。		
駐輪場の充実や自転車道路の段差解消、レンタサイクルの乗捨拠点の増加などの整備が必要である一方で、散歩道や保存地区、繁華街等は、自転車の乗り入れ禁止の強化が必要である。	1 1	施策6における推進事業「自転車観光のための環境整備と情報発信の充実」を推進していく上で参考にさせていただきます。
レンタサイクルを推進すべきである。		
京都の街中で自転車観光を進めるならば、混雑した歩道を走るなどの危険なことがないように、統一性のあるルールづくりとその周知が求められる。		
アジアの観光客は、グルメやお土産の消費が期待されるため、道の駅の増設や、チェックアウトを遅くしたり、チェックアウト後に荷物を預かるなどのサービスが有効である。	3	施策6において手ぶら観光の更なる推進に取り組む中で参考とさせていただきます。
嵐山駅に荷物預かり所が必要である。		
観光地の店舗で荷物預りを行ってはどうか。		

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
多機能フリーパスの導入等の旅行者の利便性向上による移動の円滑化や、関西国際空港等から京都への交通の利便性向上に具体的に取り組む必要がある。 リニア中央新幹線の京都ルート誘致と、東京オリンピックの開催に伴う東京から京都へ誘導し、関西国際空港から帰国するルートの創出など、交通インフラの整備とアクセスの改善が必要である。	4	施策6において、京都へのアクセス向上に向けて、リニア中央新幹線の京都誘致やヘリポートの整備支援等に取り組んでまいります。
京都は、町家や宿坊等の外国人観光客にとって魅力的な施設を有するため、Airbnb（※エアービーアンドビー：宿泊施設を貸し出す人向けのウェブサイト）などを活用した民泊を推進すると、空き家対策にもなるため、推進すべきである。また、小学校跡地を宿泊施設として活用することにより、地域に根差した交流と宿泊キャパシティ不足の改善を図ることができないか。	2	ホテルや旅館をはじめ、安心・安全で多様な形態の宿泊施設（宿坊・特区制度の活用・空き家等）の整備を支援する取組を進める中で参考とさせていただきます。
施策7の特区制度の活用による宿泊施設の増加策の推進については、安心・安全の観点が必要であるとともに、そもそも特区活用ではなく、既存の宿泊施設の充実と保護が必要である。古い街並みの中にある一棟貸し宿泊施設は防災や防犯上の課題もあり、一時の繁忙需要のためだけの収容定員の増加策は、結果として宿泊施設全体の売上減少や業界の衰退につながっていく。 大阪では特区制度を活用した旅館業法の緩和に関して条例案が否決されると報道されたが、京都でも同じ状況になったら制度活用ができないため、活用できるかどうかわからない制度は、案から削除すべきである。	5	特区制度の活用による宿泊施設の増加策の推進に当たっては、単なる収容定員の増加を目指すのではなく、京都の特性を十分に考慮したうえで、安心・安全の視点を勘案しながら検討してまいります。併せて、既存の宿泊施設に対する取組も充実させてまいります。
町家、民宿、ゲストハウスなど京都らしい宿のニーズが高まっているため、安心、安全である宿泊施設情報の提供や、海外に向けた宿泊施設情報の提供等の情報発信の強化が必要である。	2	施策7における、ホテルや旅館をはじめ、安心・安全で多様な形態の宿泊施設の整備の支援に取り組む中で、参考とさせていただきます。

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
他都市と比べて宿泊料金が低い。		

(3) 魅力の向上，誘致手法：１８０件

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
日本では当たり前の飲食店での水やおしぼりの無償提供や、日本には馴染みのないシエスタを取り入れた観光スタイルなどの文化の差が魅力となる。	1	本計画において、京都の魅力の向上に取り組む中で、参考とさせていただきます。
文化を守り育てるだけでなく、みらいの京都の観光のために、新たな文化を創出し、育てていく必要がある。	1	観光を通じた文化と文化の触れ合いが、５０年、１００年先においても、新たな価値を生み出すことにつながります。観光客に新たな満足と感動をお届けし続ける持続可能な文化と観光の創造に取り組んでまいります。
オール京都で組織される「京都文化フェア推進委員会」に言及し、京都文化芸術プログラム２０２０（仮称）との連携を図るべきである。	1	京都文化芸術プログラム２０２０（仮称）と融合した文化・芸術を生かした観光資源の創出に取り組むうえで、京都文化フェア（仮称）の取組を進めてまいります。
他の国にはない、洗練された文化を強調していくべきだ。	1	施策８において、文化・芸術をはじめとした京都の精神性などの魅力を最大限に高める取組の推進を掲げており、今後取組を進めてまいります。
花街が産業として成り立っているのは京都だけであるため、花街を守り育てる教育が必要である。	1	施策８において、「花街の文化」をはじめとした京都をつなぐ無形文化遺産制度等により、文化資産を守り、育て、想像的に活用を進めるまちづくりに取り組んでまいります。
「京都をつなぐ無形文化遺産」のように埋もれている文化や観光素材に光を当てるとともに、鉄道博物館のような新たな観光素材を作り、両方を観光客に提供することが求められている。	1	施策８における京都の文化・芸術を生かした観光資源化の推進に取り組む一方、施策１３において新たな観光資源による地域の活性化等に取り組んでまいります。
「六斎念仏」などを例とした無形文化を保護すべきである。	1	施策８における京都をつなぐ無形文化遺産制度など、京都の文化・芸術を生かした観光資源化を推進するうえで参考とさせていただきます。
庭園は建築物の付属物ではなく、そのものに魅力があるものも多いことから、「庭園」を明記したうえで、環境モデル都市の象徴として「庭園都市・京都」を目指すべきである。	1	施策８において市民が残したいと思う“京都を彩る建物や庭園”の魅力発信に取り組むほか、施策１１において文化財の保全等に取り組む中で参考とさせていただきます。

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
夏の閑散期には、京都市役所前の広場や梅小路公園で早朝から朝市を実施すると宿泊客の増加につながる。	1	施策 9 において、「朝観光」の充実による滞在の長期化を掲げており、今後の取組の推進に当たり、参考にさせていただきます。
夜観光の更なる拡大が必要である。	6	施策 9 における「夜観光」の充実を進める中で、参考とさせていただきます。
平安神宮の鳥居をライトアップしてほしい。		
飲食店・観劇・ダンスホールなど、外国人観光客がナイトライフを楽しめる街にしてほしい。		
10 月頃に二条城で薪能を開催すると夜間の観光に結び付くのではないか。		
夕食時や夕食後に楽しめるナイトイベント等が少ないため、夕食時間を活用することができる方策が必要である。		
京都文化財団が夏季に実施している「文化財鑑賞と朝がゆ体験」や各寺社の「暁天講座」を活用した観光コースや、「ギオンコーナー」や「言葉を使わない公演（ノンバーバルパフォーマンス）」等の活用による夜の観光コースの創出等、多様化するニーズ、旅行形態の変化への対応が必要である。		
2 時間おきに温泉をめぐる「京都温泉バスの旅」を企画してはどうか。	1	施策 9 における、温泉や銭湯に光を当てた観光の推進に取り組むうえで参考とさせていただきます。
「文化・歴史」については、見るだけでなく体験する機会を増加させることや、アニメや映画等の新しい文化も観光資源として活用することも含め、寺社・名所旧跡観光だけでなく多彩な観光コース・観光スタイルの創出が必要である。	1	施策 10 において、市民と観光客の交流を推進する体験型プログラムの充実や、様々な要望に応じた観光商品の開発を進め産業振興等を推進する中で、マンガ・アニメ等のコンテンツ産業の推進や、多彩な観光コース・観光スタイルの創出に取り組んでまいります。
東京オリンピック・パラリンピックの期間中、京都造形芸術大学の外苑キャンパスに京都観光の P R 拠点を設置してはどうか。	2	施策 10 において、世界的スポーツ大会参加者・観戦者等への京都への誘客に取り組むうえでの参考とさせていただきます。
東京オリンピック・パラリンピックの期間中、外国人観光客はパスポートの提示により寺院を自由に拝観できるようにしてはどうか。		
観光客が京都観光に求めるものを国	1	施策 10 において、観光客の様々な要

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
別・年代別等で分析してニーズを把握し、それぞれに適合したイベント等を重層的に展開していくべきである。		望に応じた観光商品の開発に取り組むほか、施策１９において、観光客の旅行特性や潜在ニーズの把握に取り組んでまいります。
２～３時間おきに金閣寺・銀閣寺・二条城をめぐる「お茶会バス」を企画してはどうか。	２０	施策１０において、観光客の様々な要望に応じた観光商品の開発に取り組むうえで、今後の参考とさせていただきます。
周囲のレストランとも連携した大文字山ツアーを企画してはどうか。		
モンキーパークは欧米にはないことから将来的に最大の観光スポットとなるため、ベンチの増設や小屋の拡充等の充実行うべきである。		
中高年は京都のほとんどを観光していることから、観光客が現在何を求めているのかを調査し、新しい観光資源の開拓を行うことが必要である。		
太秦映画村など資産を生かしたイベント等を更に充実すべきである。		
海遊館と提携して、１泊ツアーを企画してはどうか。		
観光施設が閉まる時間や周辺の店舗が閉まる時間が早いため、もっと長い時間開けるようにしてほしい。		
見どころのある洋館が多数あるため、特別公開に組み込むなど見学することができる箇所を増やしてほしい。		
国際日本型運動会常時開催・参加企画案はどうか。		
学校運動会の外国人向けの見学プランをつくってはどうか。		
花火大会を企画してはどうか。		
外国人向けに、竹馬などを常時体験できる企画はどうか。		
外国人向けのお祭りの夜店の案内をつくってはどうか。		
全国の伝統工芸品を販売するお店を集めるとよい。		
平成版ほこ祭りを企画するのはどうか。		
国内外のアーティストとタイアップすることによって、伝統とモダンの融合		

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
で更なる誘客効果に繋がるのではない か。		
鴨川沿いに、橋上や堤上にイベント空間を作り、世界の国の名前をイメージする広場名を付けて、記念イベントを開催してはどうか。		
子どもも楽しむことができる、家族連れに対応したレジャー施設の創設が必要である。		
町家マップを作成してはどうか。		
歴史や寺院等のイメージだけではなく、京都の様々な魅力に基づき、観光客のニーズに応えた観光コースの企画提供が必要である。		
伝統産業の職人養成をキーポイントとして考えてほしい。	3	施策１０において、職人の匠の技に光を当てた伝統産業振興の更なる充実に取り組んでまいります。
伝統産業こそが京都観光の中心なので盛り立てて欲しい。		
観光客に対する「ものづくり体験」の場を広げ、後継者問題にも資するよう、もっと大々的に取り組むべきである。		
伝統工芸品等の「Made In Kyoto」を定着させ、これを購買、消費に結びつける仕掛けが必要である。	2	施策１０における「京都伝統産業ふれあい館」の機能強化による伝統産業製品の販売等、伝統産業振興の更なる充実に取り組んでまいります。
京都の伝統文化や工芸品の施設の更なる拡充も視野に入れておくべき。		
京都一周トレイルについて、初めて歩くコースでも安心して歩くことができ、バスや車の移動では感じることでできない空気感・新鮮な風景に感動した。	3	施策１０において、トレイルコースの拡大や新たな活用などを掲げており、更なる京都一周トレイルの魅力向上に取り組んでまいります。
京都一周トレイルを活用して京都観光の魅力の拡大を高めるべきである。京都一周トレイルは、外国人にとっても魅力的であり、日本人にとっては新たな京都観光の魅力として、再来訪意向を高めるものとなる。		
山の日（８月１１日）の祝日化に併せて、京都の新しい山登りの魅力について発信すべきである。		
世界的な企業の創業地訪問、最先端工場の見学などの産業観光を進めてはど	2	施策１０において産業観光に取り組む中で参考とさせていただきます。

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
うか。		
日本美術の粋の全てが集まる「千年の都美術館」や、企業家精神に溢れ独自の企業理念で発展する京都の産業を体験できる「京都事業創造探究館」、企業博物館のネットワーク化等、新たな観光資源の創造が必要である。		
アニメ・漫画等のコンテンツ文化は批評体系や手法が存在せず、判断基準があいまいなため活用は難しく、良質な作品と地元の特性の組み合わせが適している場合のみ成功する。	1	施策１０においてマンガ・アニメなど海外から人気のあるコンテンツに着目した取組を進めるうえで、参考とさせていただきます。
台湾ではスポーツに関するテーマツアーが流行しているため、京都マラソンなどのスポーツの情報発信と外国人参加者への対応システムを整えることで誘客に期待できる。	1	施策１０において京都マラソンの開催による魅力発信に取り組む中で、参考とさせていただきます。
京都は歴史や伝統文化が深いところが一番の魅力であるため、近代的になるのではなく、歴史を重んずるまちづくりを進めてほしい。	2	施策１１において、優れた京都の伝統産業・景観・文化財を「守り」、「育て」、「活かす」ことにより、京都の都市格と魅力の向上に取り組んでまいります。
観光客が京都に来るきっかけとなる、京都にしかない伝統文化、歴史ある施設等に目を向けて大切にしていけることが最優先である。		
京都の古い街並みのデザインや芸術性を継承しない新しい建物が原因で街並みがちぐはぐになっている。中身は近代的でも良いが、外観は風流なものに揃えてほしい。	1 1	施策１１において「町並みと調和したきめ細やかな建築デザインの規制・誘導による良好な市街地景観の形成」を掲げており、引き続き景観政策に取り組んでまいります。
繁華街の看板の規制の徹底や、神社仏閣等の説明書きの看板の木製化など意匠への配慮が必要である。		
鴨川は京都にとって重要な存在であるため、生態系の維持と川沿いの街並み景観の保全を行わなければならない。		
街中の配電盤を、京都の町並みに適した意匠にしてはどうか。		
ごみ箱も京都の町並みに適した意匠にしてはどうか。		
アスファルト道路のような味気ない道を改良すべきである。		

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
マンホールのふたのデザイン化を増やしてはどうか。		
市独自の街灯カバーを作ってはどうか。		
瓦屋根の色を指定して、少しずつ景観を作ってはどうか。		
貸し花壇を作ってはどうか。		
市内の竹林を嵯峨野の竹林のように整備してはどうか。		
金網細工や瓦などの手工業を訴求してはどうか。 後継者になる可能性を作るため、修学旅行生に体験させてはどうか。	2	施策１１において「歴史に磨かれた技術・技法，豊かな感性と熟練した技能を駆使する職人が作り出す伝統産業の魅力の発信」を推進事業として掲げており，今後取組を推進していく中で参考とさせていただきます。
宮大工などの特殊技術の伝達を手助けする公的機関を設けてはどうか。		
京都駅周辺地域において，東寺近辺の大宮跨線橋の周辺についての整備が最も遅れており，景観上の観点に加えて防犯上・防災上の観点からも，早期の整備が必要である。	1	施策１１において，「世界遺産や寺社，近代建築物とその周辺の景観に関する総点検による，歴史的景観の保全に関する検証」をはじめとした，京都の景観の保全等に取り組む中で，参考にさせていただきます。
町家民家を本来の町家様式に戻す際に助成してはどうか。	2	施策１１において「京町家の保全・再生に向け，民間の活力を生かした取組の推進」を推進事業として掲げており，今後計画を推進していく中で参考にさせていただきます。
町家を若者や長期滞在の外国人に格安で貸し出したり，震災等で被災された方々に住んでいただくなどの活用を行えばどうか。		
清潔の維持のため，ごみ箱の設置と路上の清掃が必要だ。	6	施策１１において，優れた京都の景観を「守り」「育て」これらを「活かす」ことにより，京都の都市格と魅力を高めることを掲げており，市民，事業者，行政の協働により，まちの美化に引き続き取り組んでまいります。
吸い殻やごみが路上に落ちていることは，京都の市民として恥ずかしいことであり，美化推進条例や路上喫煙防止条例の周知徹底や，看板・ポスター・アナウンス等による啓発が必要である。		
自動販売機やコンビニエンスストアの前にはごみ箱とペットボトル入れの設置を義務付けるべきだ。		
観光地を中心に，電線の地中化を推進すべきである。	7	歴史的な景観の保全・再生が望まれる，主要な文化遺産周辺，観光地等における無電柱化が重要な課題であり，地域

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
		の状況に合った整備を進め、魅力あふれる京の道の再生に取り組んでまいります。
祇園花見小路に相応しくない施設があるため将来的な移設を検討してほしい。	4	優れた京都の景観を守り・育て・活かすことにより、京都の都市格と魅力を高めるよう、取組を進める中での参考にさせていただきます。
朝顔や夕顔などの花のフェンスを設置して美しい景観をつくってほしい。		
芝生と植木のような松には、苔を敷き詰めて整備してはどうか。		
府道40号線沿いに廃材や古い看板などが見受けられ、京都の山道の雰囲気が出ないとなっている。		
京都のトリビアを活用すべき。	2	施策12において、京都が培ったあらゆる価値の蓄積を生かした新たな観光資源の創出に取り組む中で、参考にさせていただきます。
施策12において、オール京都で推進する「ミラノ万博京都ウィーク」についても言及すべきである。		
京都ならではの当地グルメが少ない。	8	施策12「和装、京の食文化、日本酒、京野菜等の京都が培ったあらゆる価値の蓄積を生かした新たな観光資源の創出」を推進していく中で参考にさせていただきます。
施策12の「京の食文化ミュージアム・あじわい館」における「京の食文化」への理解の深化を図る取組の実施」は特に力を入れてほしい。		
京の食文化の強化には賛成であるが、中央卸売市場に偏りすぎである。		
修学旅行生が手軽に京料理を食べることができる店があればよい。		
旅館に求められているのは、京都が培ったあらゆる価値を生かした観光資源の総合的な提供であり、これらの資源を生かした商品づくりのため、京都の産業・工業・商業と情報交換を行う「コーディネート」の創設が必要である。		
京都の食文化は高品質を維持すべきである。		
「京の食材」のブランドイメージの向上、その文化の保存のため、京都府立桂高等学校「京の伝統野菜を守る研究班」の活動をモデルとするなど、栽培する人間の育成、失われた品種の復元等の事業を進めるべきである。		

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
京都のブランド産品を京都の料理店等でもっと使用するようにPRが必要であるとともに、農業試験センターの設置による新種の野菜の交配を進めることが必要である。		
京都には和食だけでなく洋食もあるため、食を通じた観光を推進してほしい。	3	施策12において、京都レストランウィンタースペシャルの充実など、京の食文化を楽しむ観光の推進に取り組むとともに、取組の推進に当たっての参考とさせていただきます。
レストランウィンタースペシャルを通じて外国人観光客の誘客につなげていく。		
レストランウィンタースペシャルを軸に、料理だけではなく、ホテルやお土産もお得なキャンペーンを展開してはどうか。		
西陣織会館において、西陣織をいつでも見学し、良いものを購入できるショーケースの増設や、アウトレットコーナーを常設してはどうか。	6	施策12において和装の発信に努める中で、参考にさせていただきます。
シルクの帯じめ等を活用したスカーフや、シルクの反物を活用したベルトなど、シルクを土産物としてアピールしてはどうか。		
「きものパスポート」の取組は評価できる。京都市民が着物文化に慣れ親しむことが重要であり、様々な国籍の人間が多様な着物を着て京都の街を楽しめると良い。		
施策12において、京都が誇る西陣織や京友禅など「きもの」の無形文化遺産登録に向けた取り組みについても言及すべき。		
着物体験、茶道体験できる所などの情報提供が必要である。		
観光客が着物を着ると各所でサービスを受けることができるなど、着物をモチーフにした推進事業を実施してはどうか。		
京都企業への訪問ツアーや、京都旅行の思い出やストーリーを蓄積し、多言語化するなど、京都の新しい景色が魅力となる。	1	京都の暮らしの中で息づく文化等に触れること、人気スポットに隠れた観光資源の再構築、新たな観光資源の掘り起しなど、京都の魅力の向上を図り、観光客の皆様に感動をもたらす貴重な

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
		体験の機会を創出する取組を進めてまいります。
阪急烏丸駅と阪急河原町駅間の地下通路を魅力向上すべき。 点在する観光スポットを集めて面的に整備されたエリア観光を進めてはどうか。 例えば、京町家通り、アニメ・漫画商店街、京野菜商店街等あれば観光客が集まるかもしれない。 鴨川・高瀬川の四条以南の整備活用を図るべきである。	3	施策１３において、地域と連携した新たな観光資源の掘り起こしや既存観光地の再構築等を掲げており、今後の取組の推進に当たり、参考にさせていただきます。
古い祭やすたれかけている祭について、外国人や留学生の祭にするなど盛り上げるきっかけづくりが必要である。	1	施策１３において「地域と連携した祭りや伝統行事をはじめとする地域の観光資源の掘り起こしや既存観光地の再構築」を掲げており、今後取組を推進する中で参考にさせていただきます。
「京の夏の旅」、「京の冬の旅」、「京都・花灯路」、「京の七夕」だけではなく、新たな観光資源の掘り起こしについては、先を見据えた新たな閑散期対策の実施が必要である。 ハイシーズンは、これ以上観光客が増えてもインフラが整っていないため、冬に観光客を誘致する方法を考えることが必要である。	5	20年先や30年先を見据えた新たな観光資源の発掘は大変重要であり、通年観光や滞在期間の長期化を促す新たな取組の検討を進めてまいります。
疏水ベリが暗すぎて、夜は歩けない。	1	施策１３における、疏水沿線地域の活性化の推進に取り組む中で、参考にさせていただきます。
嵐山・嵯峨野を訪れた観光客が長岡京・亀岡・洛西も楽しんでもらうためには各自治体の連携が必要である。 周辺地域を簡単に楽しめるような食と自然を楽しむツアーを企画してはどうか。 八瀬地域は、市内中心部から少し北へ入るだけでアクセスも良く、豊かな自然と歴史や伝統文化等が集積する魅力ある地域であるため、地元団体が補うことができない部分について、多くの市民や観光客が利用することができる	4	施策１３において、地域と連携した新たな観光資源の掘り起こしや既存観光地の再構築と、地域の魅力の発信による地域の活性化に取り組む中で、今後の参考とさせていただきます。

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
ような機能整備を行うべきである。		
阪急嵐山駅前でモンキーパークの銅像の設置や龍安寺の看板設置によるPRを行ってはどうか。		
岡崎地域で、スマートフォンをかざすと昔の風景が映るような歴史のバーチャル展示を行ってはどうか。	1	施策13において岡崎の優れた地域資源を生かした魅力創出や総合的な案内・情報発信等に取り組む上での参考とさせていただきます。
京都駅西部エリアは、それぞれの集客施設が連携して親子連れが何度も訪れて楽しめる地域にしてほしい。	3	施策13において京都駅西部エリアの活性化に取り組むうえで参考とさせていただきます。
京都駅西部エリアの活性化については、梅小路新駅を核としたまちづくりを推進してもらいたい。		
梅小路機関車館で世界の名車を紹介し、鉄道ファンの名所にしてはどうか。		
京都駅西部エリアの活性化の中で、京都駅から東寺への誘導看板の充実や統一化等の整備が必要である。	2	施策13において京都駅西部エリアの活性化に取り組むとともに、施策5における観光案内標識アップグレード推進事業の充実の中で検討・参考としてまいります。
京都水族館の前に周辺の寿司屋の地図板を設置してはどうか。		
国内や世界の動物園でも珍しいことから、京都市動物園でモグラを飼育してはどうか。	1	施策13において京都市動物園の再整備による魅力発信に取り組む中で、参考とさせていただきます。
少子化で若年層の人口が減少する中、修学旅行への取組が弱すぎる。 国内修学旅行生の誘致活動や地元企業（京セラ、任天堂等）訪問プログラム等を盛り込むべき。	1	施策14における国内修学旅行生の誘致強化に加え、施策10における産業観光の推進に取り組む中で、参考にさせていただきます。
留学生が京都と外国の架け橋となり、京都を発信する大きな役割となるので、留学生への支援に力を入れるべきである。	2	施策14において、大学等との連携強化により留学生誘致の推進に取り組んでまいります。
留学生に対し、京都ならではの体験等を積極的にPRして、国際交流を推進すべきである。		
京都ならではの文化や日本料理などの体験を交えた語学の研修を行う「語学ツーリズム」を実施してはどうか。	3	施策14における京都の大学への留学の推進や海外からの教育旅行の誘致強化に取り組む中で、参考にさせていた

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
国内の青少年層の誘致推進と、海外からの修学旅行誘致・留学生誘致に当たっては、流行や目新しいものに注目するだけではなく、旅館等に代表される京都の伝統や文化、おもてなしなどの京都の受入環境を市民とともにしっかりと認識したうえで、誘致する必要がある。		できます。
多彩なプランや滞在時の介助、文化体験の強化等によって、留学だけではなくホームステイやワーキングホリデー等で、京都を選択してもらえないか。		
海外からの留学生や学生向けに、日本への興味のきっかけとなるアニメや漫画などの体験プログラムを充実すると良い。	2	施策14において、大学等との連携強化による留学生誘致の推進を掲げているほか、施策10において、京都国際マンガミュージアムを活かした取組等を掲げており、御意見を踏まえたうえで、これらの取組を実施してまいります。
海外からの留学生や学生向けに体験プログラムを充実してほしい。 日本への興味へのきっかけはアニメやマンガからのことが多く、そういったプログラムが充実するとよい。		
将来京都で働くことが視野に入るように、修学旅行生に本社が京都にある企業を見学させてはどうか。	6	施策14において、国内修学旅行生の誘致強化に取り組む中で、参考にさせていただきます。
京都に本社がある企業はもっとオープンにして、修学旅行生の見学を受け入れるべきである。		
進学先としてだけではなく、就職先として修学旅行先を重視している生徒も多数存在するため、技術工芸の継承者作りのためにも、きっかけ作りが必要である。		
修学旅行生などの団体旅行客を対象に、宿泊先の旅館等で、京都観光に関するマナー講習を実施してはどうか。		
修学旅行誘致にもっと力を入れるべきである。		
修学旅行生等がお土産を選びやすいように、複数店舗の商品によるお土産品の詰め合わせを作ってはどうか。		

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
海外から多くの観光客が訪れることから、京都に来れば様々な国の人と交流ができ、語学の勉強ができるなど、外国人観光客自体を観光資源にしてはどうか。	1	施策１４において、大学のまち京都の特性を生かした新たな交流メニューの充実による修学旅行の誘致強化等を掲げており、今後の取組推進に当たっての参考とさせていただきます。
秋期に毎週どこかの大学で学園祭を開催し、合同学園祭やパレード等を行ってはどうか。	1	施策１４において、大学のまち京都の特性を生かした取組を推進していくうえで、参考とさせていただきます。
成熟した訪日旅行者が増加しているため、このような感度が鋭い旅行者には、海外情報拠点の設置による京都の文化芸術イベント等の即時情報発信のスピードアップが効果的である。	1	施策１５において京都の伝統産業製品や文化芸術の情報発信機能を有する海外情報拠点の設置に取り組んでまいります。
アジアからの観光客が増加する可能性があるが、具体的にどのように取り込むのか記載する必要がある。	1	施策１５において、成熟した訪日旅行者（目利き層）やムスリム層市場の深耕など、国の政策をけん引する外国人観光客の誘致策強化を掲げており、受入体制の充実や魅力発信の取組を実施してまいります。
イスラムの礼拝所の整備が必要である。	3	施策１５におけるムスリム受入体制の充実として、ウェブサイトによる情報発信の充実や、事業者等に対する礼拝所の設置促進、ハラール対応等を掲げており、今後取組を推進していく中で実施してまいります。
ムスリムの礼拝が可能な場所やマップが必要である。		
イスラム教徒が京都で一番困るのは、食事であるため、ホームページでハラールフードの店舗が分かるようにすべき。 また、食材情報やメニュー表示の整備も必要である。		
ムスリム層の誘致として、ハラール対応しているレストランのホームページ構築と、ムスリムの方の不安を取り除くためのネットワーク作りが必要である。	1	本市では、平成２５年１２月から、ムスリム向け専用ホームページを開設して、情報発信に努めています。施策１５においては、更なるウェブサイトによる情報発信の充実等を掲げており、今後取組を実施するうえで参考とさせていただきます。
商工会議所などでムスリム誘致に向けての勉強会を開催してはどうか。 ムスリム誘致の勉強会はあちこちで行なわれているが、情報がまとまっていないため効果が出ていないと思う。京都市が、勉強会や情報交換会などの一	1	本市及び公益財団法人京都文化交流コンベンショビューローでは、ムスリム観光客誘致のため、大学や商工会議所、観光事業者等と連携して、平成２５年から、ムスリムの観光客受入のための勉強会を開催してきました。今後も、

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
覧を作成してはどうか。		施策１５において、引き続きムスリム受入体制の充実に取り組む中で、参考とさせていただきます。
京都の伝統産業技術を用いたヒジャブ用のピンを作ってヒジャブとセットで販売してはどうか。	1	施策１５において、ムスリム受入体制の充実を掲げており、今後取組を進める中で参考とさせていただきます。
京の食文化ミュージアム・あじwai館にムスリムフレンドリーメニューを展示するなど、ムスリムの方の生活スタイルなどを市民に伝える機会を創出するとよい。また、京都国際マンガミュージアムと連携して外国人観光客が文化の違いから誤解するような事項を漫画で紹介すればよい。	1	施策１５において、ムスリム受入体制の充実を掲げており、今後取組を進める中で参考とさせていただきます。 また、施策１０において京都国際マンガミュージアムを活かした取組を進める中で参考とさせていただきます。
成熟した訪日旅行者（目利き層）の誘致などについては、発地となる国の文化や生活を研究した上で、京都が提供できる価値を作り上げるために、民間事業者を対象とした現地訪問などの研修制度などの補助制度の創設が必要である。	1	施策１５において、国の施策をけん引する外国人観光客の誘致策の強化に取り組むうえで参考とさせていただきます。
寺社仏閣の拝観について、外国人観光客向けの期限付きのパスを導入してはどうか。	1	施策１５において、外国人観光客の誘致策を強化する中で、今後の参考とさせていただきます。
成田空港や関西空港から京都への誘導が必要である。	1	施策１５において、関西国際空港等からの移動手段として、ヘリポートの観光分野における活用を掲げており、今後、京都へのアクセス向上や新たな周遊ルートの創出に取り組んでまいります。
クルーズ船内で京都をＰＲしてはどうか。 クルーズデイは乗客は時間を持て余すので、船内で京都ＰＲを行う絶好のタイミングであり、伝統工芸の体験等も実施するなどのほか、舞鶴を一大観光地にして数時間の滞在で楽しめる海・山・田舎散策の観光コースを作ってはどうか。	1	施策１５において、他都市との連携強化による海外からの大型客船等による観光客の誘致策の強化を掲げており、今後の取組推進の中で参考とさせていただきます。
ムスリム受入体制の充実について、行政が特定の宗教についての積極的な情報発信や礼拝所等の設置促進を施策に	1	特定の宗教を広めるものではなく、全ての人が京都観光を楽しんでいただくための取組の一環として、ムスリム受

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
することについて問題はないのか。		入体制の充実に取り組むものです。
外国人観光客への対応も重要であるが、高い割合を占めている国内観光客に対して、京都の奥深いコンテンツを提供するなどの取組も必要である。	4	施策１６において、国内観光状況の変化や国内重点市場の設定による国内観光客誘致策の充実を掲げており、引き続き国内観光客の誘致に取り組む中で参考とさせていただきます。
国内観光客誘致策の充実として、観光客受入施設事業者と連携して旅行会社への商品情報を行い、受入地と旅行会社との関係を強化した取組を進めて行くべきである。		
国内客が減少しているように思われるため、国内客の誘客を強化すべきである。		
どの世代でも楽しめる観光スポットという点では、他府県と比べて優位性がないのではないか。	2	施策１６における、若年層や家族連れ、日帰り圏内向け等に対する京都の新たな魅力発信により、誰もが京都観光を楽しむことができるよう取り組んでまいります。
修学旅行も含め、京都を初めて訪れる観光客にも楽しんでもらえる工夫が必要である。		
宇治・亀岡・美山等の周辺自治体だけではなく、広域連携の強化により他の地域にも宿泊客が増え、観光消費額が増える仕組みを構築する必要がある。	1	地域全体への経済効果の波及、還元は持続可能な観光の取組を行っていくうえで、重要であることから、いただいた御意見を踏まえ、取組を進めてまいります。
東海道新幹線を軸に、沿線の自治体の観光地同士が連携してＰＲしてはどうか。	2	施策１６において、鉄道事業者との連携によるＰＲ強化を行っていくうえで参考にさせていただきます。
「そうだ、京都 行こう。」で取り上げられる寺社には多くの観光客が訪れるため、混雑を避けるためにも、市民には一般に宣伝される前に対象箇所を教えてほしい。		
ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの効果を取り込むため、大阪と京都が相互ＰＲすることが重要である。	2	施策１６において「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（ＵＳＪ）をはじめとした異なる魅力を持つ施設等との相互連携による誘客の強化」を掲げており、今後取組を推進してまいります。
ユニバーサル・スタジオ・ジャパンとの連携については、地理的關係や交通手段の案内を含めたトータルな提案が必要である。		
異なる魅力を持つ施設等との相互連携による誘客の強化によって、大事な京都らしさが失われる気がする。	1	異なる魅力を持つ施設等との相互連携による誘客の強化に当たっては、国内外の観光状況の変化等を見極めたうえ

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
		で、京都らしさが失われることのないように取り組んでまいります。
「京の冬の旅」、「京の夏の旅」は、いつも同じような場所が対象になっているため、夏、冬それぞれの季節に合った良い場所を公開対象に選んでほしい。	1	施策１６において、鉄道事業者との連携による「京の冬の旅」５０周年、「京の夏の旅」４０周年を契機とした魅力的な観光素材の創出に取り組んでまいります。
新名神高速道路の開通によってアクセス向上しているため、東海地方の自治体との連携強化も必要である。	1	施策１６における高速道路の新規開通など交通網の充実を意識したＰＲの展開に取り組む中で参考とさせていただきます。
カジノについて、京都には相応しくないと考えるがどうか。	1	京都が有する寺院・神社や歴史的な町並み、伝統ある和洋の宿泊施設など、まち全体が一大統合型リゾート拠点と言っても過言ではない本市の都市特性を踏まえ、カジノが合致するのかといった研究を進めるとともに、他都市において具体化する場合には、連携を強化し、本市への誘客につなげるよう努力してまいります。
東京から北陸新幹線を利用した関西への誘致を行う必要がある。	2	施策１７において、北陸新幹線の開通に伴う関東方面から北陸を経由した新たなルートによる外国人観光客の誘致策の強化を掲げており、今後、取組を強化してまいります。
北陸新幹線の敦賀以西の通過ルートが重要である。		
旅館に外国人客が宿泊するよう取組が必要である。	5	施策１７において、外国人観光客の要望に合わせた効果的な誘致を行ううえでの参考とさせていただきます。
日本の一般家庭の生活に興味のある外国人は多いことから、普通の家庭でのランチなど日本の生活を垣間見ることが出来る一般家庭への訪問ツアーがあればよい。		
カナダ人は日本の歯の治療費の安さに驚いていたので、医療ツーリズムを促進してはどうか。		
台湾人観光客はリピーターが多いことから、新しい話題や観光スポットを持続的に生み出すなど、リピーターを獲得する手法が必要である。		
普段慣れていない外国人にとっても気軽に体験できる日本文化の体験方法を		

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
考えてみてはどうか。		

(4) 魅力の発信，コミュニケーション：２９件

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
京都へ行ってみたいと思わせるようなインパクトのあるフレーズを浸透させる必要がある。	2	施策１８において、海外に通用する京都宣伝のためのキャッチフレーズに取り組んでまいります。
「おもてなし」の使用が多すぎるため、京都のホスピタリティを表現する言葉を検討されたい。		
テレビ番組や映画製作支援の制度を整え、投資や補助制度を作ってはどうか。	3	施策１９において、テレビ番組、映画制作のはたらきかけに取り組んでいくうえで参考とさせていただきます。
朝のテレビドラマや、NHK大河ドラマにおいて、京都を舞台とした物語を制作し、観光スポットの宣伝をしてはどうか。		
ハリウッドで京都の竹取・源氏物語などの制作を考えてもらってはどうか。		
外国人観光客に向けて、免税店での京都コーナーの充実など、空港での京都PRを行ってはどうか。	4	施策１９において京都観光の宣伝や魅力発信の強化に取り組むうえで、参考とさせていただきます。
京都の文化、産業の更なる創出のためには、海外に向けたトップセールスも不可欠である。		
他の自治体と互いにバス等の車体に観光の広告を出し合ってはどうか。		
京都の観光地Ｔシャツを世界で販売してはどうか。		
海外から京都を訪れた観光客が京都の魅力を発信する仕掛けが必要である。	1	京都の留学生や京都を訪れたことのある外国人観光客等による自国の言語での京都観光の魅力発信を行うこととしており、取組を推進してまいります。
京都に造詣の深い、京都在住の外国人を活用してはどうか。	1	本市では、京都の魅力発信に貢献していただく「京都観光おもてなし大使」、海外において京都ブランドを発信していただく「京都国際観光大使」、京都ゆかりの著名人による「京都名誉観光大使」を任命し、京都の魅力のPRのために御活躍をいただいているところです。加えて「新たな切り口での情報発信と更なる外国人観光客の誘致に向けた、京都の留学生などによる自国の言

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
		語での京都観光の魅力発信」を推進事業として掲げており、今後取組を進めてまいります。
京都観光オフィシャルサイト「京都観光N a v i」や各言語サイトにおいて最新情報の掲載が必要である。	1	施策19において、京都観光オフィシャルサイト「京都観光N a v i」の充実に取り組んでまいります。
伝統や文化を守るために、誤った情報を流すことのないようにしなければならない。	1	施策19において、観光客に向けた情報発信の強化に取り組む中で、京都の奥深い魅力を正確に分かりやすくお伝えするよう取り組んでまいります。
イスラムや東南アジアを始め、まだ情報発信ができていない国や民族への情報提供が必要であり、相手の文化の視点に立って、押し付けの情報提供にならないよう柔軟な視点で行うことが必要である。	1	施策19において、京都をまだ知らない方、興味を持った方、来ようとしている方、お越しいただいた方、それぞれの希望や求めるものを把握し、京都の魅力に対する理解の促進と京都への憧れを醸成するための情報の受発信を強化する中で、取組を進めてまいります。
京都総合観光案内所の現状のスペースでは窓口数が限界に達している。混雑しているのを見て相談をあきらめる人もいる。京都総合観光案内所の案内機能等の充実とは具体的にどのようなことを想定しているのか、抜本的な対策や充実策を計画の中に明記すべきである。	1	京都総合観光案内所運営協議会の構成団体や利用者の皆様の御意見を伺いながら、具体策について検討を進めてまいります。
京都総合観光案内所で、簡単な問合せに対応できる人員の配置が必要であり、ボランティアや学生などを募集して行えば良い。	1	京都総合観光案内所における案内機能等の充実強化を図る中で、検討してまいります。
神社仏閣、美術館、伝統工芸品、着物等の観光コンテンツをデータベース化して誰もが活用できるようにオープンにしてはどうか。	2	「公共データ（オープンデータ）等を活用した観光情報の充実や SNS サイト等を活用したクチコミ情報の受発信」を推進事業として掲げており、今後計画を推進する中で参考にさせていただきます。
ビッグデータの観光活用を検討すべきである。		
東京の京都館をもっと有効活用してはどうか。	2	施策20において、京都館を活用した京都の魅力の発信に取り組む中で参考とさせていただきます。
京都館を銀座に移転させ、観光案内、相談、マスコミ対応等や物販につなが		

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
る飲食コーナーの設置等を行い機能拡充させてはどうか。		
京都の魅力をWEB上で発信できる人材の育成や、京都の魅力を発信しているブログや写真等を募ったコンテストの実施等を行ってはどうか。	1	施策20において、京都文化等への理解の促進と京都へのあこがれを醸成するための情報の受発信の強化等を行ううえで参考とさせていただきます。
京都のまちなかにも観光案内所を設置し、外国人観光客への交通や買物をする際の案内等の対応強化をする必要がある。	2	施策20において「京都総合観光案内所を核とした民間観光案内所のネットワーク構築及び機能強化と案内機能等の充実強化」を掲げており、今後取組を推進する中で参考にさせていただきます。
まちかどで、近隣のレストランを案内することができるようなインフォメーションセンターが必要である。		
コミュニケーション手段の多様化と情報入手方法の変化に対応した情報発信や、スマートフォンでも容易に操作できる多言語対応のポータルサイトの構築、個人ブロガーの活用等が必要である。	2	施策20において、観光客に向けたリアルタイムの情報発信や、情報流通の自由化など、双方向の案内・情報発信体制を強化する中で、参考とさせていただきます。
寺院等の改修工事の情報をまとめるホームページがあれば助かる。		
ブログやウェブサイトでは多言語で発信していくべきだ。	1	施策20において、情報発信体制の強化に取り組んでまいります。
外国人観光客が増加していることで、習慣等の違いにより違和感や不快感を覚えている市民もいるため、外国人観光客への対応に必要な知識や心構えの啓蒙が必要である。	1	京都観光の意義や効果に関する情報、観光客の対応について必要な知識や心構えについての情報発信を強化してまいります。
地下鉄と阪急電鉄の駅がある四条烏丸の地下に観光案内所が必要である。	2	観光客に向けた情報発信等の体制を強化する中で、検討を行ってまいります。
外国人観光客が多い祇園エリアに、外国人向けの資料が充実した観光案内所を設置すべきである。		

(5) MICE戦略：14件

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
京都府や国とも密接な連携をとり、みやこめっせ・府立図書館・京都文化博物館・ウィングス京都などの施設を活用してはどうか。	1	「京都市MICE戦略2014-2020」において、みやこめっせ、ロームシアター、国際交流会館など岡崎地域施設の一体活用や、多彩な資源を生かしたユニークベニュー活用化の推進を掲げており、今後、様々な施設を活

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
		用していくうえで参考とさせていただきます。
アルムナイ層の誘致は、リピーター化にもつながるのでよい取組である。	1	「京都市MICE戦略2014-2020」において、京都にふさわしいMICE誘致の強化を図る中で、アルムナイ層の誘致に取り組んでまいります。
京都市MICE協議会（仮称）の立ち上げに当たっては、京都文化交流コンベンションビューローの事業に屋上屋を重ねることにならないようにしてもらいたい。	1	京都市MICE協議会（仮称）の立ち上げに当たっては、京都文化交流コンベンションビューローをはじめとした関係者等と十分に協議したうえで、取組を進めてまいります。
M・I専門官（仮称）の設置について、具体的な施策展開のイメージが必要である。	1	ミーティング、インセンティブツアーを専門とした豊富な情報と業界ネットワークを有する人材を設置し、都市間競争力を高めてまいります。
MICE施策2において、京都商工会議所において実施予定である、京都本社及び京都に支店を置く企業に対するM・Iの開催動向調査の結果について、今後の施策に反映してもらいたい。	1	調査結果を踏まえ、今後の取組の参考にさせていただきます。
G8サミット閣僚会合誘致について言及すべきではないか。	1	京都の都市格の向上につながる世界平和や人類の未来に貢献する国際会議のひとつとして誘致を進めてまいります。
MICE開催を把握するため、宿泊施設の協力を得て調査を行ってはどうか。	1	「京都市MICE戦略2014-2020」を推進するうえで参考とさせていただきます。
大学における講演会や学習会等において、ベビールームを設置してシッターを配置すれば、女性が参加しやすくなる。	4	「京都市MICE戦略2014-2020」において、主催者が京都を選択しやすい環境整備に取り組んでまいります。
MICE会場はパソコンが利用できる会場がよい人もいるのではないか。		
MICEに工場見学を取り入れてはどうか。		
観光中にひらめいた日本企業や商店等との商談をサポートしてはどうか。		
オリンピック開催決定を契機としたMICE誘致のプロモーション強化を図るとともに、企業が主体となるミーテ	1	「京都市MICE戦略2014-2020」において、ミーティング・報奨旅行対策の強化に取り組むなど、MI

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
イングやインセンティブの取組み拡大による外国人ビジネス客の取組みの強化が望まれる。		C Eによる経済効果を最大限にする取組を推進してまいります。
旅行事業者やM I C E実施業者をファムトリップに招請することにより、旅行会社が主催者に京都を選択するよう勧めやすくなる。	1	「京都市M I C E戦略2014-2020」において、旅行事業者等による現地視察会の実施に取り組んでまいります。
M I C Eと言われても分からないため、各年代にも分かりやすく説明する機会が必要である。	1	「京都市M I C E戦略2014-2020」において、より分かりやすい説明に努めていくとともに、M I C Eに取り組む意義を含めて、市民参加型のM I C E開催の推進にも取り組むなど、より分かりやすい説明に努めてまいります。

(6) 計画推進体制：10件

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
施策や推進事業ごとに実施主体の役割分担が必要であり、京都市は政策立案を行い、京都文化交流コンベンションビューローや京都市観光協会が施策遂行を行ってはどうか。また、京都文化交流コンベンションビューローと京都市観光協会を統合することで、組織の活性化や協賛金を支払う民間企業の重複感もなくなるため、組織統合により国内外の観光客誘致を一体的に行っていくべきである。	5	計画の推進に当たっては、京都市の観光行政を担う、観光M I C E推進室の体制強化・充実を図るとともに、公益社団法人京都市観光協会、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー等の関係団体の機能強化を図ってまいります。併せて、経費節減や業務の効率化を進めてまいります。本計画のその他に掲げる、観光M I C E推進室の体制強化・充実や、公益社団法人京都市観光協会、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューローなどの関係団体の機能強化や連携強化に当たっての参考とさせていただきます。
世界1位の観光都市であり続けるためには、市役所内に5～10名程度の外国人観光客専門の部署を設ける必要がある。		
M I C Eは一般観光とは全く別のものなので、観光とは切り離してM I C E専門部門が実施すべきである。		
N P O法人は、行政の手が回らない部分で活躍できるため、行政はN P O法人と密接に連携すべきである。		
4つの目標をブレークダウンしてサブ目標を設定し、それぞれの目標について月次で状況を把握する必要がある。外国人宿泊者数、一人当たりの観光消	1	今後、「京都みらい観光振興計画マネジメント会議（仮称）」において本計画の進ちょく管理を行うに当たり、数値目標を設定する際の参考とさせていただきます。

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
費額、観光客の満足度、ホテル稼働率、客室単価の把握は少なくとも必要である。		きます。
観光関連事業者が一体となって計画を推進する体制づくりが必要だ。	3	本計画は、京都に暮らし・働き・学ぶ人々や観光関連業界、京都を訪れる人々など、京都を愛する皆様一人一人と共有し、心をつにして目標の実現に向けて取り組んでまいります。
計画推進体制において、市民の役割を勝手に記載しないでもらいたい。		
計画に掲げる事業の推進は、行政と市民がどれだけ協力し合えるかである。		
観光客にとって良いまちが市民にとって良いまちとは限らないため、市民の意見を聞き入れる機会を設け、市民と一体となって京都の未来を考えることが一番に重要である。	1	本計画を推進するに当たっては、市民の皆様にご参加いただくプロジェクトチームを設置して市民の視点を加えた取組を行ってまいります。

(7) その他：２２件

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
京都旅行はお金がかかるというイメージが定着しつつある。	1	京都の奥深いほんものの魅力を観光客の皆様にご理解いただけるよう、本計画において魅力の向上や魅力の発信に努めてまいります。
安定した観光振興のためには安定した財源の確保が必要であるため、宿泊税を導入してはどうか。	2	本計画を推進していく中で、事業の実施手法等を検討する上での参考とさせていただきます。
推進メンバーに加わりたい。私が所持している資料も役に立つと思う。	1	本計画の推進体制として、市民及び若手職員が参加するプロジェクトチームの設置を検討しています。募集などにつきましては、改めてお知らせいたします。
京都市内（府内）で生産された材木を「京都産」として出荷できるシステムを作ってはどうか。	1	本市では木の地産地消の取組を効果的に進めるため、京都市地域産材を「みやこ杣木(そまぎ)」として認証する制度を創設して、運用を進めているところです。引き続き、地球温暖化対策の一環として、また活力ある健全な森林の育成を進めるため、京都市地域産材の需要拡大に取り組んでまいります。
海外の様々な土地での交流は、世界における京都のプレゼンス向上につながり、結果として将来の入洛外国人を増加させるため、アウトバウンドの視点を持ってはどうか。	3	世界があこがれる観光都市を目指すうえで、今後の取組の参考とさせていただきます。

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
外国人が帰るときの紙ナフキンの状態で満足度がわかるので、レストランや和食店では外国人に紙ナフキンを提供してリサーチすればどうか。		
観光客が、あこがれの京都で思い出を残してもらうため、観光地の各施設で「ひとこと」メッセージを記入・投函できるようにすればどうか。		
京都の場合、観光はビジネスとして成立しているので、民間に任せておけばよく、観光振興ではなく社会福祉に財源を投入すべきである。	1	本計画は、市民をはじめとして京都観光に関わる全ての皆さんが実施主体となる計画であり、観光に取り組むことによって経済効果を最大限に高め、市民生活に寄与することを目標としています。
「トラベル・アンド・レジャー」誌の読者アンケートで京都が世界1位となった理由を検証すべきではないか。	2	「トラベル・アンド・レジャー」誌の読者アンケート結果のほか、様々な視点から京都観光に関する分析等を行う必要があり、その結果を本計画の推進に当たり参考としてまいります。
「トラベル・アンド・レジャー」誌の読者アンケートにおいて、日本ではあまり知られていないアメリカのチャールストンが上位にある理由を分析することも必要である。		
現在の京都バス「八瀬駅前」バス停（大原方面行き）は、仮設置されたものであり、移転先が確保されているため、利便性や安全上の問題等からも早急に移転すべきである。	9	関係先に御意見をお伝えするなど、実施の可否について検討してまいります。
阪急嵐山線は単線のため不便であり、観光客が多いことから複線化すべきである。		
植物園の庭師の増加や選定をしっかりと行う等のほか、緑化のために来場者に余った種や苗を販売してはどうか。		
嵐山の渡月橋手前に横断歩道の設置が必要である。		
モンキーパークの山道に転落防止のため柵の設置が必要である。		
出町商店街は、いつも道路に自動車が駐車されているため、自転車を通りづらいので、商店街での購入金額に応じた駐車場の無料化や取り締まりの強化が必要である。		

意見要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
京都水族館にラッコがないので入れてほしい。		
日本にしかない木々花々を輸出してはどうか。		
市のフリーマーケットは1点100円での販売を許可してはどうか。		
御池シンボルロード事業についての今後の方向性はどのようなものか。	1	御池シンボルロードにつきましては、「市民の皆様に親しまれ、生活に潤いと安らぎを与える道路として、また、世界の人々を魅了する京都のメインストリートとして、新たなときめきにぎわいの空間となること」をコンセプトに、ふさわしい建物の形成、にぎわいと文化の創出、花と緑があふれる憩いの環境、地元・経済界等とのパートナーシップによる育みを目標像として、取組を進めてまいりました。コンセプトの更なる具体化を目指し、今後も引き続き、様々な関係施策に取り組んでまいります。
京都では宿泊施設が不足していると言われているが詳細な調査・分析が必要である。	1	今後、宿泊施設のキャパシティに関する調査・分析等を行ってまいります。